

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>施設の理念「すべての人がもつ通常的生活を送る権利を可能な限り保障する。」が明文化されている。</p> <p>また、それに基づき、基本方針「『ノーマライゼーション』の理念のもとに、利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、生活の豊かさを実感できるように、経営を改革し、支援します。」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針は、職員マニュアルに明文化されており、全職員に配布するとともに毎朝、朝礼で読み合わせを行っている。ホームページへの掲載や廊下など施設内掲示を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>利用者周知については、施設内掲示文書だけでは、理解力に見合った内容ではないので、利用者個々のレベルに合わせたわかりやすい伝達の方法について（例えば、わかりやすく生活の具体的な場面を設定した説明等）の工夫が今後の課題であるとする。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 平成29年度～平成33年度に渡る5カ年計画「みどり荘解体新書」を策定し、中・長期目標を明確にしている。「施設整備」「職員育成・人材確保・労働環境」「利用者対応」「施設経営」等具体的な内容になっており、実施項目を明示している。 中・長期計画を踏まえて、施設運営全般に渡る事業計画を策定している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画は各部署会議など各種会議で職員参画のもとに議論され、リーダー会議、経営会議で検討している。具体的な年度重点項目を掲げ、各部署で進捗状況を確認し、要望・意見を提出している。 職員周知については職員会議で説明する等して周知を図っている。 利用者周知については、利用者朝礼や利用者自治会全体会で説明するとともに、日常生活の支援場面で個別に説明している。また年度初めの保護者会総会で説明する等、利用者周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 事務分掌表やサービス管理規定において管理者の役割と責任について明文化し、職員会議や朝礼で読み合わせをする等して周知を図っている。 遵守法令に関する研修会に参加し、施設内研修等を通じて職員にわかりやすく報告・説明し、法令遵守の理解促進に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 基本方針に「利用者の立場に立った人権の尊重とQOL（生活の質・生命の質・人生の質）の充実、向上をめざす」とあるように、利用者一人ひとりを尊重したサービス提供の観点から、施設長は、職員の目標管理制度を活用し、定期的に面談を行い、業務等の相談、助言、指導等に取り組む等、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。 経営成績及び財政状態については毎月、法人で分析し、経営分析や業務の効率化についてリーダー会議等で検討している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>		<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>障害福祉動向についてはインターネットを活用したり、法人の経営会議や各種研修に参加する等して情報収集に努めている。また地域の民生委員、自治会長や特別支援学校、相談支援専門員等から福祉ニーズの把握に努めている。</p> <p>経営分析についてはリーダー会議や職員会議等で検討され、コスト管理を意識化し、改善について取り組んでいる。</p> <p>公認会計士による外部監査を実施し、指導を受けている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事の裁量権は本部にあるが、施設として必要な人員、必要とする職種に応じた人材プランを確立し、希望する人材を法人本部に伝えている。</p> <p>人事考課については法人で客観的基準を整備し、目標管理制度と連動して、フィードバック面接を通じた評価を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給の消化率や就業状況は定期的にチェックし、把握している。職員のストレスチェックを実施し、健康状態や家庭の事情にも配慮した適切な就業環境作りに努めている。</p> <p>福利厚生については、福利厚生センターに加入しており、健康診断の実施や職員の相談窓口の設置等、充実した体制を確立している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ－２－（３）－①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画において職員の育成に関する基本姿勢が明示されている。</p> <p>新人職員研修やチューター制度の実施、ＯＪＴ研修、階層別研修、外部研修等、様々な研修体制が確立している。</p> <p>研修受講後、研修内容の伝達講習を行う等職員への周知を図り、今後の研修計画の見直しに反映させている。さらに、資格取得について勤務等を配慮する等の支援を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画の中で、実習生の受け入れを積極的に行っていく姿勢を示している。実習生受け入れマニュアルを整備し、指導担当者を設置し、養成校と連携しながら職種別のプログラムを用意し、受け入れられている。受け入れにあたっては、養成校と打ち合わせを行い、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行う	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	ている。	
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>緊急時の対応に必要な各種事故予防マニュアル、不審者対応マニュアル、健康マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備し、不審者訓練、救急救命講習、感染症講習、防災訓練・避難訓練等を実施している。備蓄倉庫を整備し、食料品等を備蓄している。</p> <p>また施設は地域の福祉避難所となっており、災害時にゲストハウスを活用できるよう準備している。ひやりハットについては、報告書にて収集し、リスクマネジメント委員会で分析し、対応策を講じている。また、ひやりハット集を作成し、事故予防に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「地域と協調を図り、地域交流の推進、施設ボランティアの受け入れ及び情報提供を行い、地域に根ざし、開かれた施設とする。」という基本方針があり、地域との関わる基本姿勢を示している。夏祭りなど施設行事に参加していただいたり、ほたる祭り、ふるさと福祉村やコミュニティセンターでの文化祭等、地域の行事に参加する等して地域交流に努めている。</p> <p>事業所機能の地域への還元については、地域の福祉避難所としての機能の他、地域住民への施設備品の貸し出しやグラウンド開放等を実施している。</p> <p>基本理念にボランティア受け入れ姿勢を明示し、各種ボランティア受け入れを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>社会福祉法人改革の流れの中で、法人の使命として、事業所機能を活かした公益的な事業活動がより求められてくる。今後、「地域住民の社会生活を支える福祉拠点」としての理念のさらなる具現化を図るべく、例えば、地域住民向け講座の開催等公益事業の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p> <p>また、ボランティアの受け入れマニュアルについて、今後の整備充実に向けた取り組みに期待したい。</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		

	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の関係機関や必要な社会資源を明確にし、職員に周知を図っている。</p> <p>また、市町村、福祉事務所、更生相談所、社会福祉協議会、医療機関、施設、自治会、民生委員、日赤奉仕団等関係機関・団体との連携に努め、ふるさと福祉村の活動等を通じて地域の関係団体のネットワーク強化に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本方針に「地域で生活する障がいを持った方や家族を支える拠点施設として地域福祉に貢献する」と明示しており、地域との交流等を通してニーズを把握し、日中一時支援事業や短期入所事業等、地域のニーズに基づく事業を展開している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本方針「『ノーマライゼーション』の理念のもとに、利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、</p>		

<p>生活の豊かさを実感できるように、経営を改革し、支援します。」が明文化され、「基本姿勢カード」を毎朝、読み合わせしている。身体拘束をしないケアの実践や虐待防止委員会の設置等、職員への意識づけの徹底を図っている。</p> <p>また、援助マニュアルを整備し、利用者のプライバシー保護について、職員の意識づけの強化に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
	<p>Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎年、満足度アンケート調査を利用者、家族に実施し、調査結果を分析し、改善を行っている。改善内容は利用者、家族にフィードバックしている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
	<p>Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
	<p>Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>日常的な支援の場面で意見を聞くよう心がけ、利用者の豊かな生活をめざす委員会委員の来訪による毎月の相談会（みんなの相談会）の開催や意見箱の設置等を通じて意見を述べやすい環境づくりに努めている。</p> <p>外部の相談窓口や苦情窓口についても重要事項説明書に記載・説明している。また寄せられた苦情に対しては対応マニュアルを整備し、迅速対応に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： サービス管理委員会を設置し、利用者サービス向上に努めている。また毎年度、「利用者の豊かな生活をめざす委員会」による外部評価を実施するとともに岐阜県福祉サービス第三者評価を受審しており、課題を明確にし、改善策検討し、改善に向けた取り組みを行う体制を整備している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 基本方針の中で、サービスの質の向上について明文化されており、各種マニュアル類の整備等、サービスの標準化に取り組み、定期的に見直しを実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

る。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>記録様式は統一した様式で、標準化されている。パソコンのネットワークシステムを活用して必要な情報を職員間で共有する仕組みを整備している。</p> <p>記録管理について保管・保存・廃棄に関する規程を定め、厳重に管理している。今後とも継続して、各種会議や研修等を活用して、記録の標準化に取り組まれることを期待する。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページやパンフレットに施設の内容や取り組みを掲載し、サービスを選択できるようわかりやすく工夫するとともに見学や体験利用の要望にも積極的に対応している。</p> <p>サービス開始にあたっては、重要事項説明書や資料でサービスの内容や利用方法、費用等を説明し、契約の同意を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>施設や他の事業所への変更や移行に際しては、必要な場合に備えて、担当者を決めて、相談対応やスムーズな移行の体制を整える等、サービスの継続性に配慮した対応ができるよう心がけている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>家庭への移行に際し、今後の相談手順・体制などを文書にて引継ぎができるように努められたい。</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、支援ニーズを把握している。アセスメントは定期的に行っているが、心身状況等の変化等で必要がある場合には、その都度行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施性格の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： アセスメントに基づいて把握されたニーズを分析し、本人・家族の意向を踏まえ、個別支援計画を策定している。 定期的なモニタリングを実施し、計画の評価・見直しを行っている。変更したサービスは職員会議での周知やパソコンネットワークシステムで共有されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果（障害分野）

A-1 利用者の尊重

1 - (1) 利用者の尊重		第三者評価結果
A-1-(1)-①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-②	利用者の主体的な活動を尊重していますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各部屋に担当者を決め、日頃から障害の特性に応じてコミュニケーション方法に工夫を重ね、思いや気持ちを汲み取るよう支援している。例えば、写真や絵を使って、選んでもらったり、ホワイトボードに日課や予定を記入する等、視覚的情報を用いてコミュニケーションを図っている。</p> <p>喫茶や誕生会、外出、夏祭り等の各種行事を利用者の主体的な活動として位置づけ、利用者の思いを尊重し、職員は側面的な支援の観点から各種行事を実施している。また経営委員会にも利用者が民生委員等地域の代表者や育成会、特別支援学校の先生らと共に参加し、意見を述べる機会がある。</p>		
改善できる点／改善方法：		
A-1-(1)-③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-④	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがありますか。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>体調の変化等も含め、意思伝達が困難な利用者が多いので、顔色や行動等わずかな変化も見逃さないように観察し、見守りをを行っている。また棟会議等で、利用者一人ひとりの支援方法について話し合いを行い、必要に応じて見直しをし、改善に努めている。</p> <p>利用者ひとり一人の能力に合わせて社会生活力を高めるために、外出や買い物等について職員と約束や確認等を行う等して行いながら社会的な体験を積み重ねている。また可能な利用者には、家族と打ち合わせをし、公共交通機関を利用した帰宅訓練を繰り返す等して帰省できるよう支援している。グループホーム等に地域移行をする場合は、担当者を配置し、ゲストハウスを活用して、日常生活に必要な技術を身につけている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
<p>今後とも、利用者の社会生活力を高めるため、より幅広い観点から、社会資源の情報開発と体験の機会の拡充に向けた取り組みを継続していただくよう期待する。</p>		

A-2 日常生活支援

2- (1) 食事		第三者評価結果
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-③	喫食環境（食事時間を含む）に配慮していますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>栄養ケア計画を立案し、看護師と連携しながら、利用者状況や体調に応じた食事形態で食事が提供されている。また看護師と連携し、体調に応じた食事を提供している。食事中には、看護師が常時利用者の喫食状況を見守っている。</p> <p>毎月食事検討会議があり、会議での利用者の意見や嗜好調査、残食調査をもとに食事内容が検討されている。日々のメニューは写真等を使い、わかりやすく提示されている。また選択メニューやバイキング、季節を感じさせる行事食等、食事を楽しむことができる機会が多い。</p> <p>食事時間は、幅を持たせており、ゆったりと食事をすることができる。また季節ごとに利用者の作品が掲示されたり、バイキング時や喫茶室のテーブルには美味しく食事ができるようクロスがかけられている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

2- (2) 入浴		第三者評価結果
A-2-(2)-①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮していますか。	Ⓐ・B・C
A-2-(2)-②	入浴は、利用者の希望に沿って行われていますか。	Ⓐ・B・C
A-2-(2)-③	浴室・脱衣場等の環境は適切ですか。	A・Ⓒ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事故防止マニュアルを整備し、必要な利用者には入浴前にバイタルチェックを実施している。また利用者の入浴についての留意事項等が記録され、職員間で情報共有されている。</p> <p>週3回、同性介助による入浴が行われ、夏場には、週3回その他、シャワー浴も実施されている。また必要に応じて入浴やシャワーを利用することもできる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>施設の構造上、タイル張りで段差もあるので、手すりや滑り止めを設置したり、浴槽に入ることができない利用者にはシャワー浴、足浴で対応している状況である。浴室の広さに合わせて時間差入浴を実施しているが、脱衣室が混雑する場合もある。設備整備については指定管理であり、法人全体の予算の都合上、速やかな対応は困難と考えるが、今後、扉にプライバシー確保のため、カーテンや暖簾、また脱衣場の椅子の設置やチェア浴の整備等、環境整備に向けた取り組みが順次実施されていくよう期待する。</p>		

2- (3) 排泄		第三者評価結果
	A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われていますか。	Ⓐ・B・C
	A-2-(3)-② トイレは清潔で快適ですか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>紙パンツ等使用している利用者の支援については個別支援計画を活用し、また職員会議等で支援の方法について共通認識し、支援にあたっている。また事故防止マニュアルに介助の留意点を示すと共に、排せつの状況はチェックリストを用いて確認をしている。</p> <p>施設の老朽化は否めないが、対処手段として、こまめに清掃や換気を行い、防臭や清潔を保っている。また居室と廊下に温度差が生じないようにエアコンが設置されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
2- (4) 衣服		第三者評価結果
	A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援していますか。	Ⓐ・B・C
	A-2-(4)-② 衣服の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切ですか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>衣服は家族と一緒に購入したり、定期的に職員と買い物外出を行い、自分で選び、購入している。外出が困難な利用者については、職員が好みや意向を聞き取って衣服の購入をしている。</p> <p>こだわりのある利用者には本人の好みに添って、良く似た種類の衣類を用意したり、他のお気に入りの衣類で対応する等工夫して支援している。衣類が汚れたら直ちに着替えを行うよう支援し、破損時やボタンつけ等の手入れについてもその都度対応している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
2- (5) 理容・美容		第三者評価結果
	A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援していますか。	Ⓐ・B・C
	A-2-(5)-② 理髪店や美容院の理容について配慮していますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>起床時、髪型を整える支援をしている。近隣の理髪店や美容院の情報を提供し、利用希望者には理・美容院と連絡調整をして、同行、付き添いの支援を行っている。</p> <p>理・美容店のスタッフも利用者の状況を理解されているので、利用者は安心して好みのカットやカラーリング等を楽しまれている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

2 - (6) 睡眠		第三者評価結果
A-2-(6)-① 安眠できるように配慮していますか。		Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>室温を適温に設定し、夜間の定期巡回を実施する等、利用者の安眠に努めている。利用者が同室者に影響を及ぼす状況にある場合、ショートステイの部屋を利用してもらったり、なかなか眠れない利用者には、落ち着くまで職員が付き添う等の配慮を行っている。</p> <p>予算化が可能であれば、居室ごとで照明の切り替えができるよう整備を整えられたい。</p>		
改善できる点/改善方法：		
2 - (7) 健康管理		第三者評価結果
A-2-(7)-① 日常の健康管理は適切ですか。		Ⓐ・B・C
A-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられますか。		Ⓐ・B・C
A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実にこなされていますか。		Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>援助マニュアル(健康管理編)を整備し、マニュアルに基づいて支援している。口腔ケアに関する研修を毎年、実施している。各種会議で、利用者ごとの注意事項について確認し、支援に活かしている。看護師の増員により、職員の健康管理教育の機会が増え、利用者へのよりきめ細やかなケアの実施が可能になった。</p> <p>緊急時対応マニュアルや服薬マニュアルが整備されている。内服薬の管理は看護師が対応し、服薬時には複数の職員で確認を行う等、誤薬防止や飲みこぼし防止に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

2 - (8) 余暇・レクリエーション		第三者評価結果
A-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われていますか。		Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>茶華道や卓球クラブについては地域のボランティアを受け入れ、地域の卓球大会に参加もしている。また障がい者の野球大会やフリスビー大会にも参加する等、利用者の社会参加に努めている。利用者の高齢化に伴い、マラカス等で音楽に合わせてリズム体操等を実施している。今後、更なる高齢化、重度化の進行に応じたプログラムの開発に向けた取り組みが期待される。</p>		
改善できる点/改善方法：		

2 - (9) 外出、外泊		第三者評価結果
A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われていますか。		A・Ⓑ・C
A-2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されていますか。		Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月1回以上、利用者の希望に合わせて外出する機会を設けている。外出の際には、職員が付き添い支援を行い、利用者の安心安全に努めている。</p> <p>外泊は希望により行われており、毎週末に帰省される利用者もいる。正月等を施設で生活される利用者のため、快適に過ごしていただけるよう、鍋料理をしたり、炬燵を使ったり、みかんを食べる等その時々のお雰囲気を味わっていただくように努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今後、利用者家族の高齢化の進行により、帰省機会の状況についても変化しつつある中、利用者の要望に応えるべく、ボランティアやヘルパー等社会資源の導入に向けた検討がなされているとのことであり、導入に向けた取り組みに期待する。</p>		
2 - (10) 所持金・預かり金の管理等		第三者評価結果
A-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られていますか。		Ⓐ・B・C
A-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できますか。		Ⓐ・B・C
A-2-(10)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。		Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>預り金管理要綱に基づき、利用者の金銭を管理し、利用者家族に報告している。買い物外出の際には、能力に応じてできるだけ自分で支払いができるよう支援し、利用者の社会的スキルを高めている。金銭の自己管理ができる利用者には小遣い帳をつけていただき、職員が確認をしている。</p> <p>アニメの雑誌やテレビジョンの雑誌等、定期購読について支援したり、また新聞チラシやフリーペーパー等について情報提供したりしている。</p> <p>嗜好品（たばこやお酒）については、時間や場所について取り決めた上で提供している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

岐阜県独自項目

(1) 職員の援助技術の向上		第三者評価結果
① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいますか。		Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員全員に外部研修の受講の機会を設けている他、法人内での定期的な階層別研修や課題研修等で外部講師を迎える等して支援技術の向上に努めている。また新規採用職員には1年間、経験ある先輩職員を指導役、相談役とするチューター制度を導入し、育成を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

(2) I T技術や知識の修得	第三者評価結果
① 利用者の社会生活に必要なI T技術や知識の修得に向けた支援をしている。	A・ Ⓐ ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>現在、I T技術に関心がある利用者は少ないが、インターネットの検索の要望については、その都度応じている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>利用者が自由に使えるパソコン等の設置のに向けた取り組みに期待したい。</p>	